

◎ 中野幡能氏、西日本文化賞受賞

本会々員中野幡能氏は、「八幡信仰史の研究、大分県史料編さん刊行等日本宗教史、郷土史の解明に寄与した功績により、第二十八回、西日本文化賞（西日本新聞社）を授けられた。

◎ 実地見学旅行

本会の定例行事である実地見学旅行が、昭和四十四年十一月二十三日、大分県地理学会、大分探勝アルコウ会と共催で行われた。

渡辺澄夫、兼子俊一、入江英親氏等の懇切な解説をききながら、宇佐神宮、大善寺、大楽寺、上田原、空虚蔵寺塔跡、四日市横穴古墳群、芝原善光寺、葛原古墳、呉崎新田と宇佐平野一帯の文化を訪ねた貸切バスに満員の参加者は深い感銘をうけた。

高度経済成長政策のもとでいわゆる八過疎現象Vが起り、農村は急激に荒廃していつている。この頃、農村を回ってそれを強く感じる。

明治になって百年、農民の生活と文化の記録を今まで伝えて来た家がこの頃急に離村し、その際に貴重な記録が焼かれ、売られたりした例はいくらでもある。記録を求めて、「昨年の暮に焼き捨てた」と知らされたときなど涙が出そうになる。このような記録の散逸を何とか防ぐことはできないかと考えるが、個人の力ではいかんともなしがたい。

こうしている間にもどこかで記録が失われているのではないかと考えると気が気でない。